

社 会

(地理的分野)

(3) 社会（地理的分野）

観 点	着 眼 点
1 学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫	(1) 社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせながら、課題を追究したり解決したりする学習活動など、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた工夫 (2) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、地理的な課題に向けて公正に選択・判断したりしたことを説明したりそれらをもとに議論したりするなど、言語活動に関わる学習のための工夫 (3) 情報活用能力の育成に向け、学校図書館や地域の公共施設、コンピュータや情報通信ネットワークなどを活用して、生徒が主体的に調べ分かつようとして学習に取り組むための工夫 (4) 学習したことを振り返り、学習成果を確認したり新たな問いを見いだしたりすることや、学んだことをもとに自らの生活を見つめたり社会生活に向けて生かしたりすることができるような工夫 (5) 地理情報を収集する技能を身に付けるなど、生徒が自主的に学習を進めていくことができるような工夫 (6) 生徒の興味・関心を生かした自主的、自発的な学習を促すための工夫 (7) 他の教科や小学校等との関連を図った学習活動を充実するための工夫
2 使用上の便宜	(1) 内容別配当の分量 (2) 教材・資料等の分量 (3) 造本上の特徴、特別な配慮を必要とする生徒への配慮、編集上の工夫等
3 その他	今日的課題への配慮

1 学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫

発行者の 番号・略称	学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫	
2 東書	<p>●着眼点(1)について 各単元の導入部で、単元を貫く探求課題を立てるなど、問いを軸に構造化されており、生徒が課題解決に向けて学習が進められるようになっている。 〔例〕（P8、P10等）</p> <p>●着眼点(2)について 小集団での学習コーナー「みんなでチャレンジ」を設け、対話的な学習が行えるようになっている。 〔例〕（P13、P21等）</p> <p>●着眼点(3)について 二次元コード及びDマークを掲載し、動画コンテンツ等の利用ができるようになっている。 〔例〕（P5、P9、P160等）</p> <p>●着眼点(4)について 単元の終結部に「まとめの活動」を設けており、単元の振り返りを行うことや今後の社会生活に生かすことができるようになっている。 〔例〕（P19、P31等）</p>	<p>●着眼点(5)について 地理学習の基礎的な技能を説明する「スキルアップ」コーナーを設け、様々な活用場面を通して地理情報を収集するための技能が身につけられるようになっている。〔例〕（P13、P15等）</p> <p>●着眼点(6)について 「環境」や「防災」等、現代的な5つのテーマを設定し、様々な課題やその課題克服のための取組を取り上げ、課題に対する意識をもって発表等を行うことができるようになっている。 〔例〕（巻頭3、P164～P165等）</p> <p>●着眼点(7)について 各ページに「分野関連」マークを付し、歴史、公民に関連の強い項目を示している。〔例〕（P26、P55等） 「教科関連マーク」を付し、他教科との関連性を示している。 〔例〕（P23、P35等） 各単元の導入部に、小学校で学習した内容を振り返るページを設け、小・中学校の学習が円滑に接続できるよう工夫されている。〔例〕（P6、P33他）</p>

発行者の 番号・略称	学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫	
17 教出	<p>●着眼点(1)について タイトルに、主題とともに学習課題を明示することで、生徒が課題意識をもって学習に取り組めるようになっている。 〔例〕 (P10、P12 等)</p> <p>●着眼点(2)について 学習課題に対応した「表現」コーナーを設けることで、課題等に関わる表現活動を行うことができるようになっている。 〔例〕 (P11、P13 等)</p> <p>●着眼点(3)について 教科書とウェブサイトをリンクさせた「まなびリンク」コーナーを設けている。 〔例〕 (P9、P29 等)</p> <p>●着眼点(4)について 章や節の末尾に「学習のまとめと表現」を設けることで、単元の振り返りを行うことができ、知識等の整理を行うことができるようになっている。 〔例〕 (P46、P65 等)</p>	<p>●着眼点(5)について 「地理の技」及び「読み解こう」コーナーを設け、様々な活用場面を通して、地理情報を収集するための技能を身につけるとともに、自主的な学習を進めていくことができるよう工夫されている。 〔例〕 (P11、P15 等)</p> <p>●着眼点(6)について 「環境問題」等、各地域の事例をもとに今日的な課題に迫るテーマを取り上げ、個人やグループでさらに学びを深められるようになっている。 〔例〕 (P102～P103、P274～P275 等)</p> <p>●着眼点(7)について 各ページに「関連」マークを付し、歴史、公民に関連の強い項目を示している。 〔例〕 (P27、P51 他)</p> <p>本編直前に「地理にアプローチ」コーナーを設け、小学校で学習した内容を振り返ることで、小・中学校の学習が円滑に接続できるよう工夫されている。 〔例〕 (P6)</p>

発行者の 番号・略称	学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫	
46 帝国	<p>●着眼点(1)について 巻頭に地理的な見方・考え方を示すとともに、各見開きに、「節(章)の課題」に対応した学習課題を設けており、生徒が自主的に課題解決に向けて学習が進められるようになっている。 〔例〕(巻頭7、P2、P4等)</p> <p>●着眼点(2)について 「確認しよう」「説明しよう」等のコーナーを設けることで、課題に対応した表現活動を行うことができるようになっている。〔例〕(P7、P9等)</p> <p>●着眼点(3)について 二次元コードを掲載し、動画コンテンツ等の利用ができるようになっている。〔例〕(P3、P11等)</p> <p>●着眼点(4)について 章や節等の末尾に「章(節)の学習を振り返ろう」を設け、学習の振り返りを行ったり、今後の社会生活に生かしたりできるようになっている。 〔例〕(P13、P64等)</p>	<p>●着眼点(5)について 「技能をみがく」コーナーを設け、様々な活用場面を通して、地理情報を収集するための技能を身につけられるようになっている。〔例〕(P5、P17等)</p> <p>●着眼点(6)について 「環境・防災・共生」をテーマとした「未来に向けて」等のコラムを掲載し、今日的な課題を取り上げることで、自発的な学習を行えるようになっている。 〔例〕(P57、P69等)</p> <p>●着眼点(7)について 各ページに「関連」マークを付し、歴史、公民及び小学校社会科と関連の強い項目を示し、各分野との接続を促すとともに、小・中学校の学習が円滑に接続できるよう工夫されている。 〔例〕(P6、P20他)</p>

発行者の 番号・略称	学習指導要領に定める教科の目標を達成するための工夫	
116 日文	<p>●着眼点(1)について 見開きページごとに学習課題を明示するとともに、そのヒントとなる「見方・考え方」を掲載することで、生徒が主体的に学習に取り組めるようになっている。〔例〕(P2、P4等)</p> <p>●着眼点(2)について 「アクティビティコーナー」等を見つけ、表現活動へのヒント等を掲載することで、様々な表現活動を行うことができるようになっている。 〔例〕(P57、P81等)</p> <p>●着眼点(3)について デジタルマークのついた教材は、巻頭の二次元コードから動画コンテンツ等の利用ができるようになっている。 〔例〕(巻頭Ⅶ、P55、P86等)</p> <p>●着眼点(4)について 章や節の末尾に「確認」や「ふりかえり」等を設けており、学習の振り返りを行ったり、今後の社会生活に生かしたりできるようになっている。 〔例〕(P22、P42等)</p>	<p>●着眼点(5)について 「スキルUPコーナー」を設け、地理の学習を進めるにあたって必要な技能を、系統立てて身につけられるようになっている。〔例〕(P4、P22等)</p> <p>●着眼点(6)について 「環境問題」「多文化共生」等の地球的課題・社会的課題について紹介する等、取り上げた課題に対して自発的な学習を行えるようになっている。 〔例〕(P101、P229等)</p> <p>●着眼点(7)について 脚注に「連携コーナー」を設け、歴史、公民及び小学校社会科と関連の強い項目を示し、各分野との接続を促すとともに、小・中学校の学習が円滑に接続できるよう工夫されている。 〔例〕(P2、P18他) また、グラフ等から読み取る活動等、数学等の他教科との連携を図っている。 〔例〕(P133、P196他)</p>

2 使用上の便宜

項目 発行者の 番号・略称	(1) 内容別配当の分量									(2) 教材・資料等の分量												
	A世界と日本の 地域構成		B世界の様々な 地域		C日本の様々な地域					地図	図版	写真	統計資料 (グラフ等)	年表	読み物資料	インタビュー	注釈・用語解説	表現活動例	見方・考え方の例示	学習のスキル	二次元コードに類するもの	三重県に関わる記述等
	(1) 世界の 地域 構成	(2) 日本 の 地域 構成	(1) 境 界 各 地 の 人 々 の 生 活 と 環 境	(2) 世 界 の 諸 地 域	(1) 地 域 調 査 の 手 法	(2) 分 日 本 の 地 域 的 特 色 と 地 域 区 分	(3) 日 本 の 諸 地 域	(4) 地 域 の 在 り 方														
2 東書	276	14	13	21	86	16	27	87	12	150	35	214	137	1	57	20	8	158	146	25	32	○
17 教出	273	11	8	19	86	14	26	101	8	154	15	221	101	3	66	8	6	232	103	19	6	○
46 帝国	294	12	12	21	83	12	28	115	11	154	22	240	112	0	65	16	54	278	103	21	53	○
116 日文	273	11	11	20	75	19	25	101	11	102	20	209	113	1	57	14	10	230	179	33	1	○

(3) 造本上の特徴、特別な配慮を必要とする生徒への配慮、編集上の工夫等

2 東書	<ul style="list-style-type: none"> ・A B判にすることで、諸資料・文字が大きくなっている。再生紙と植物油インキを使用し、環境に配慮している。針金綴じを採用し、堅牢で長期間の使用にも耐えられる。 ・カラー・フォントがユニバーサルデザインとなっている。 ・①導入資料②学習課題③本文と図版、「課題を深めるコラム・活動」等④「チェック＆トライ」という流れで、学習内容が確実に定着するように構造化されており、1時間の授業が見開きで完結できるようになっている。 ・世界の諸地域や日本の諸地域では、小学校の学習の振り返りを通した「探求課題」が設定されている。 ・巻末に用語解説、さくいんとともに、世界の国・日本の都道府県別の資料や概要が掲載されている。
17 教出	<ul style="list-style-type: none"> ・A B判にすることで、諸資料・文字が大きくなっている。再生紙と植物油インキを使用し、印刷にグリーン電力を使用するなど環境に配慮している。カラー・フォントがユニバーサルデザインとなっている。 ・①導入資料②学習課題③本文と図版、「学習コラム」等④「確認」「表現」という流れで、基礎・基本の定着と思考力等を育成できる構成になっており、1時間の授業が見開きで完結できるようになっている。 ・第1編直前に小学校の学習を振り返る作業があり、中学校と円滑な接続が図られるよう配慮している。 ・巻末に用語解説、さくいんとともに、世界の国・日本の都道府県のあらましが掲載されている。
46 帝国	<ul style="list-style-type: none"> ・A B判にすることで、諸資料・文字が大きく興味・関心を引きやすくしている。再生紙とライスインキを使用し、環境に配慮している。 ・堅牢な造本方式を採用し、長期間の使用にも耐えられる。カラー・フォントがユニバーサルデザインとなっている。 ・①導入資料②学習課題③本文と図版、対話的な学びのためのコラム等④「確認しよう」「説明しよう」という流れで、基礎・基本の定着と思考力等を育成できる構成になっており、1時間の授業が見開きで完結できるようになっている。 ・小学校の学習や歴史、公民で学ぶ事項を示す、「小学校・歴史・公民との関連」(65か所)が設定されている。 ・巻末にさくいんが掲載されている。
116 日文	<ul style="list-style-type: none"> ・A B判にすることで、諸資料・文字が大きくなっている。再生紙と植物油インキを使用し、環境に配慮している。 ・あじろ綴じを採用し、堅牢で開きやすい。カラー・フォントがユニバーサルデザインとなっている。 ・①導入資料②学習課題とその「見方・考え方」③本文と図版、「深めよう」等のコーナー④確認という流れで、基礎・基本の定着と思考力等を育成できる構成になっており、1時間の授業が見開きで完結できるようになっている。 ・小学校の学習(25か所)とのつながりを示す、「連携コーナー」が設定されている。 ・巻末に用語解説、さくいんとともに、世界の国・日本の都道府県別の資料が掲載されている。

3 その他

今日の課題への配慮	
2 東書	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の領土について、竹島や尖閣諸島の写真を掲載するとともに、北方領土におけるロシアの不法占拠について掲載している。 ・三重県について、伊勢神宮を中心とした歴史を生かしたまちづくりを掲載するとともに、四日市市の石油化学コンビナートについて記載している。 ・世界の諸課題を解決する視点として「持続可能な開発目標（SDG s）」を取り上げ、諸課題解決のためのきっかけとしている。 ・防災教育について、地震や津波発生の仕組み、防災・減災の取組を取り上げるコーナーを設け、防災や安全についての意識を高める工夫をしている。
17 教出	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の領土について、竹島や尖閣諸島の写真を掲載するとともに、北方領土についてはこれまでの経緯を年表にする等、ロシアの不法占拠について掲載している。 ・三重県について、近畿地方の様子を掲載している項に、紀伊半島の気候について述べられている。 ・世界の諸課題を解決する視点として巻頭に「持続可能な開発目標（SDG s）」を掲載し、諸課題解決のためのきっかけとしている。 ・防災教育について、地域調査の視点として「地域の防災」を取り上げたり、「災害から身を守るために」という課題を掲載し、災害に対する公的な仕組みや防災マップについて取り上げたりすることで、防災や安全に対する意識を高める工夫をしている。
46 帝国	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の領土について、日本の国土全域を記載するとともに、竹島や尖閣諸島、北方領土に関する現状や課題等について記載している。 ・三重県について、和歌山県の飛び地を説明する際に、三重県との県境を記載している。また、水産業や林業、工業について、志摩市や四日市市を記載している。 ・世界の諸課題を解決する視点として「持続可能な開発目標（SDG s）」を取り上げ、諸課題解決のためのきっかけとしている。また、国内の地域課題を解決する視点としてもSDG sを活用している。 ・防災教育について、日本で発生する自然災害を地形や自然等の自然環境と関連づけて記載している。また、全国で行われている防災や減災について記載することで、防災や安全についての意識を高める工夫をしている。
116 日文	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の領土について、東西南北の国境を記載するとともに、北方領土や尖閣諸島にまつわる現状や課題について記載している。 ・三重県について、三重県がどの地域に属するかを扱ったコラムを記載している。また、地形や産業について写真の掲載がある（津市、志摩市、松阪市）。 ・世界の諸課題を解決する視点として「持続可能な開発目標（SDG s）」を取り上げ、諸課題解決のためのきっかけとしている。 ・防災教育について、日本で発生する自然災害を地形や自然等の自然環境と関連づけて記載している。また、防災や減災についての工夫を記載することで、防災や安全についての意識を高める工夫をしている。（伊賀市、紀北町）